

令和5年度 第1回羽島市防災会議条例専門部会 会議要旨

日時	令和5年5月9日（火）19時25分から	
場所	羽島市役所 情報・防災庁舎2階 災害対策本部室	
出席者 <敬称略>	<p><b>【部会】</b></p> <p>部会長 岐阜大学地域減災研究センター特任准教授 村岡 治道</p> <p>部会員 羽島市消防団長 泉 徳行</p> <p>部会員 羽島市自治委員会長 小森 博昭</p> <p>部会員 羽島市水防団長 小林 静雄</p> <p>部会員 羽島市防災研究会副会長 柳町 よう子</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>危機管理課課長 浅野 貴久</p> <p>危機管理課課長補佐 田島 裕史</p> <p>危機管理課防災係長 大橋 正和</p>	
内容	<p><u>1 開 会</u></p> <p><u>2 部会長あいさつ</u></p> <p><u>3 報 告</u></p> <p>(1) 羽島市防災会議条例専門部会規定について</p> <p>(2) 防災コーディネーター向けワークショップの結果について</p> <p>(3) 今後のワークショップについて</p> <p>(4) スケジュールについて</p> <p><b>意見</b></p> <p>(部会員)</p> <p>防災意識の高くない一般の方がコミュニティーセンターでのワークショップに参加し、防災コーディネーター向けワークショップ同様の内容について、適応できないのではと懸念している。再検討するべきではないかとも思います。</p> <p>(部会員)</p> <p>小熊小学校の子ども達は防災に対する意識が高く、放課後教室も充実している。ただ、災害が起きた時に今までの訓練が活かせるかは分からない。</p> <p>私達は、まず命を守るという訓練をしないと、いざとなった時に生かせないと思います。</p> <p>(部会員)</p> <p>地域のコミュニティーセンターでワークショップをやられるのはいいが、慣れてくれば意見が出てくるとは思うが、最初はほとんど意見が出てこないのではないかと懸念している。ワールド・カフェ方式を取り入れてみるのも一案だと思います。</p> <p>市が災害想定を市民へ情報共有してもらい、まず自分の安全を確保し、逃げる方法を個人のものとして考えるべきだと感じました。</p>	

内容	<p>「個人情報をごくまではっきりさせて良いのか」、「健常者の人が弱者の方を助けたくても上手く情報が得られるか」の2点を感じました。</p> <p>(部会長)</p> <p>部会員の皆様の意見は全て繋がっていると思います。ワークショップへ参加される方は自分にふりかかる物語の主人公として考えてもらい、また情報共有や設定等について相談していただければ、困難というハードルが少し低くなると思います。3部会員様からご指摘いただいた意見は、私と同じ視点で指摘をいただいているなど受け止めながら聞いておりました。</p> <p><u>4 事務連絡</u></p> <p>第2回羽島市防災会議条例専門部会は9月26日を予定している。</p> <p><u>5 閉会</u></p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----	--